

～四万十町・打井川に受け継がれる諸伝説～

馬之助神社。それは四万十町・打井川の静かな谷あいにある神社で、祭神はたった7歳の悪ガキ馬之助。



昔、打井川の峠のふもとに貧乏な百姓がいた。貧乏な上に子たくさんであったこの家族は、馬之助を授かった時には「よう育てんけん押し子にしよう」と話し合った。押し子とは、生まれて間もない赤ん坊を土の中に埋めてしまうことらしいが、母親はどうしてもそんなかわいそうなことはできないと猛反対し、馬之助を育てることに決めたようだ。しかし、そんな母親の思いとは裏腹に、馬之助は腹が減っては盗みをし、両親が畳に頭をこすりつけて謝って回ってもそれでもイタズラばかりをし続け、ついに7歳の時に捨てられてしまった。たった7歳の子どもを山に置き去りにする。いくらイタズラをして困ると言っても、母親は身を引き裂かれる思いだったに違いない。こんなことならあの時押し子にしておけば良かったと後悔もしたことだろう……。山に捨てられた馬之助は、最初の1週間くらいは川でサワガニを捕まえながらなんとか生き延びたようだが、やはり1ヶ月もした頃には姿が見えなくなり、どうやら亡くなってしまったようである。そのすぐ後、両親はもとより家族・親戚一同が亡くなってしまい、そして、災いは馬之助の親族だけでなく山で仕事をする者皆に降りかかるようになった。山に仕入れに来ようものならその家族には不幸がもたらされ、馬之助の悪口を言おうものなら命を奪われたそうだ。

困り果てた村人は、坊様を雇って社や通夜堂を建て、馬之助大明神として毎月例祭をするようになった。それからというもの、災いがなくなっただけでなく、馬之助神社を参拝するといろんなご利益がもたらされるようになり、今では県内外問わずたくさんの信者がいるという。



馬之助神社

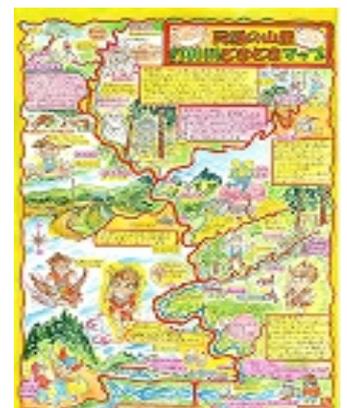
馬之助の像



実際にあった最近の話だが、足が悪くて医者に行ってもどうにもならないような男性が馬之助神社に水車を作ったところ、驚くほど足の調子が良くなったそうだ。また、会社の経営が芳しくなかった男性がサワガニの石像を奉納したところ、どんどん仕事が舞い込んでくるようになったという。今では全国から感謝の気持ちを込めて、馬之助におもちゃやお菓子が届けられ、馬之助神社にはそれらが所狭しとならべられている。ただ、イタズラ好きの神様なので……。大阪のTV局が取材に来た時はカメラの電源が入らなかったり、馬之助のご神体を撮影すると奇妙な光が映っていたというような話もある。皆さんもお立ちよりの際には邪念を払って純粋な気持ちで参拝してほしい。

ところで、打井川の諸伝説のおもしろいマップがあるのをご存じだろうか。これは、流域のある男性が、伊能忠敬のように独自で手書きで書かれたマップで、とても可愛らしいうえに、すごく詳細に事が記されている私の大好きなマップである。是非ともリンクをクリックして、大きな画面でご覧頂きたい。上記の馬之助神社の話もちろん、他の諸伝説についても場所と内容とが分かりやすく記載されている。このような形で、後世にその地域のことを伝承し、残していくことは清流四万十にとって重要なことである。この方は、打井川だけでなく四万十町のいろんなところのマップを描かれているので、興味のある方は財団までご連絡ください。

さて、話がそれてしまったが、打井川の伝説についてももう少し紹介したいと思う。このマップと見比べながら読み進めて頂けると分かりやすいのではないだろうか。



奥打井川の地蔵峠に首なし地蔵さまがいる。昔、この首なし地蔵さまに、いたずらっ子が大量のおしっこをかけては「しむか地蔵。しむか地蔵。」(*訳 しみるか地蔵)とひとりごとを言っておしっこをかけ続けたそうだ。そこに1人のじいさまが通りかかって「こりゃ！そんなことをしてたまるか。ちんちが腫れてしまうぞ。」といたずらっ子を叱りとばし、そして、地蔵さまを清水で洗い流して祀り直したそうだ。「今日はええことをした」とじいさまは穏やかな気持ちで家に帰って行った。ところが、それからというもの、じいさまの周りではろくなことがなかった。飼っていた牛は死んでしまうし、家内はわずらってしまう・・・。それもそのはず。「あの時せっかく子どもが名前をつけてくれよったに、じいのすが叱りとばしたもんじゃけん台なしになってしまった。いらんでええことをしてくれた。」と地蔵さまが怒っているというではないか。これは悪いことをしてしまつたと、じいさまは急いで地蔵さまにお詫びをし、「しむか地蔵」という名前をつけ、さらに新しい地蔵さまを隣に並べて供養をした。お地蔵さまはイタズラをされようとも子どもと遊ぶのが大好きなんですね。

ところで、この首なし地蔵さま。「わしの首は、辰巳の方角にとんでいてころびよるが誰も拾ってくれるもんがおらん。誰でもかまわんが拾い上げてくれたら、なんでも願い事を1つだけは必ずかねちやるのにな。」とお告げを残したそうだ。そして、今でも地蔵さまは首なしで立っている・・・。

雨降り石



この石に座ると大雨が降る！？昔、この石の上で権現様がお休みになったことからそう言われる。横にある木は、権現様がお休みになるときに置き忘れた杖が、そのまま成長したものだとか・・・。

かっぱアイス



これぞ巷で有名なあのかっぱアイス！！かっぱの大好きなきゅうり味のさっぱりしたアイスです。打井川にお越しの際は是非どうぞ。

四万十川流域 6月のイベント

第10回 ホタルまつり in 森の巣箱

日時：平成25年6月8日(土) 16:00~21:00

場所：津野町床鍋 森の巣箱

内容：子ども達のホタル関連作品の表彰や日本舞踊やマジックなどの催し事、津野町うまいもの市、夜8時からは近くの川でホタル鑑賞があります。

この時期だけの癒しのイベント。みなさんもホタルの光で心を安らげてみませんか？

詳しくは津野町役場のHPをご覧ください。